

2024年10月4日 第3486回例会

於： 横須賀商工会議所



<点鐘・開会> 12:30 高橋 会長

<斉唱> 「君が代」「奉仕の理想」

<斉和> 「四つのテスト」

<ゲスト紹介> *株式会社ジュエリーJIN

横須賀さいか屋2F宝石サロン代表取締役社長 神下 満治様

*米山奨学生 金 翰 隼 様

*青少年交換留学生 Lualy Rehen HOFER TURCATO さん

<誕生月祝> *岡田 圭太 (H. 2.10. 2) *鹿島 勇 (S. 22.10. 7)

*吉田 清 (S. 27.10.11) *萩原 英恵 (S. 49.10.15)

*小林 康記 (S. 24.10.16) *濱田 恵里 (S. 33.10.16)

*小沢 一彦 (S. 12.10.23) *小平 一穂 (S. 33.10.28)

*椿 和香 (S. 43.10.30) 各会員

<入会月祝> ・小佐野 圭三 ・飯塚 進一郎 ・外木 祥司 ・根岸 文彦

・物井 宏介 ・岡田 英城 ・平松 廣司 ・山田 晴史

・鈴木 隆裕 ・角井 駿輔 ・森 勇人 各会員

<会長報告> *ガバナー事務所より

・ロータリーレート変更のお知らせ 10月1日より1^{ドル}145円⇒142円

・2025—26実施年度向け第1回地区補助金説明会のご案内について

10月26日(土)14:00~16:00 場所: 第一相澤ビル8F「会議室」

<米山奨学生へ奨学金授与> 会長より金 翰隼さんへ

<青少年交換留学生へ奨学金授与> 会長よりLualy Rehen HOFER TURCATO さんへ

<幹事報告> *出席委員会 臼井委員長より9月分出席報告 9月分平均出席率 71.83%

	会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メイクアップ数	出席率
9月 6日	116名	106名	72名(6名)	34名	6名	73.58%
13日	116名	103名	70名(4名)	33名	4名	71.84%
27日	116名	103名	63名(5名)	40名	10名	70.87%

*雑誌委員会 江口副委員長よりロータリーの友10月号の紹介

*社会奉仕委員会 田中委員長よりポリオ募金活動について

*職業奉仕委員会 椿委員長より職業体験学習引受けのお願いについて

<出席報告> *出席委員会 臼井委員長より10月4日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メイクアップ数	出席率
115名	105名	68名(5名)	37名	2名	66.67%

メイクアップ: 小沢、岡田(英)両会員 地区大会 出席

<ニコニコ報告>

・三 役 米山奨学生 金翰隼さん、青少年交換留学生 ルアリーさん本日の例会もゆっくりお過ごし下さい。勉強も頑張っね!

・八 巻、佐久間、濱田、齋藤 眞、瀬戸、齋藤 眞、比 護 各会員

米山奨学生 金翰隼様、青少年交換留学生 Lualy Rehen HOFER TURCATO さんようこそお越しくございました。例会をお楽しみください。

・吉田 備、濱田、椿 各会員 誕生月祝いとして

・小佐野、飯塚、山田 輔、森 各会員 入会月祝いとして

- ・三 役 竹株会員、新会員卓話宜しくお願ひします。カブちゃん放浪記楽しみにしています！
- ・大 石、大野 隼、加藤 隼、木 村、椿、田 中、長 島、梶 木、石 田、権 田、
梁 井、八 卷、江 口、八 木、吉田 隼、鈴木 豊、加賀本、若麻績、森、佐久間、
上 林、小佐野、鷺 尾、濱 田、川 名、齋藤 隼、谷、杉 浦、勝 見、松本 隼、
田 邊、三 井、澤 田、長 尾、白 井、吉田 久、藤 村、小保内、加藤 隼、前 田 各会員
本日は竹株会員の新会員卓話です。グローバルでユーモラスな経験談が聞けそうですね。
どうぞよろしくお願ひいたします。
- ・竹 株 会員 大変恐縮でございますが本日卓話をさせていただきます。上手話せるか分かりませんが
どうぞよろしくお願ひします。
- ・齋藤 隼 地区米山委員長 10月20日(日)地区大会において米山奨学生による世界8ヶ国のお茶・
お菓子のサービスがあります。是非お立ち寄りください。
- ・石 田、加賀本、濱 田、徳 永、浅 葉、小山 隼 各会員
「54本塁打」「59盗塁」「本塁打王」「打点王」のタイトル獲得、2週連続で週間
MVPを受賞などMLBで輝かしい快挙を成し遂げた大谷選手。初のポストシーズンも
目が離せませんね。

<新会員卓話>

～ 株ちゃんの放浪記～

竹 株 枝 里 会 員

皆様こんにちは。卓話ということで大変恐縮ではございますが、私の39年間についてお話しさせていただきます。ただできればと思います。

竹株枝里と申します。39歳です。竹株という姓は大変珍しく調べてみましたところ全国で2,532位の姓で、約180名いることがわかりました。わたしの祖父は三重県出身で、全国でも一番竹株家が多いエリアでございます。といっても60名です。

私の家族は6人家族、両親と3人の妹がおります。双子の妹はパティシエでございます。大阪の寄本ベーカリーで商品開発を担当しております。作曲家の旦那さんと1人娘と大阪におります。先日は扇町に新店舗がオープンし徹夜で仕込みをしておりました。次にアメリカに在住しております妹は2人のやんちゃな男の子と女の子と旦那さんとフィラデルフィアに住んでおります。一番下の妹は、両親が男の子が欲しかったんでしょうか、12歳離れております。現在は兵庫県にございますアンパンマンミュージアムにて総務を担当しております。日本舞踊、バレエなど勉強も一番できる妹です。母を入れて女5人対父男1人で大変にぎやかな家族でございます。名前をご覧になってわかります通り、お嫁に行っていないのは、私と12歳下の妹でして竹株姓の180人という数字を守っております。



さて、そんな私は1985年3月29日に一卵性の双子の妹と10分差で大阪に誕生します。両親は旅行が好きで新婚旅行はカナダのバンフにスキーに行くほどで、その両親に、毎年夏は海へ、冬はスキーへ連れて行ってもらいました。そしてその旅行で北海道に行った時、初めての飛行機で客室乗務員の方に出会います。母が当時専業主婦だったこともあり、働いている女性に衝撃を受けるとともにとても美しい立ち居振る舞いに感激いたしました。

さて、そんな私は1985年3月29日に一卵性の双子の妹と10分差で大阪に誕生します。両親は旅行が好きで新婚旅行はカナダのバンフにスキーに行くほどで、その両親に、毎年夏は海へ、冬はスキーへ連れて行ってもらいました。そしてその旅行で北海道に行った時、初めての飛行機で客室乗務員の方に出会います。母が当時専業主婦だったこともあり、働いている女性に衝撃を受けるとともにとても美しい立ち居振る舞いに感激いたしました。

高校を卒業後、旅行の専門学校に進学をします。英語を話せるようになりたかったので、留学制度のあるトラジャル旅行ホテル専門学校に入学しました。1年目はエアラインの実務について勉強し、2年目は留学、学生時代は大阪のリーガロイヤルホテルでアルバイトをしました。土曜日・日曜日は12時間勤務が当たり前でした。そんな中でロータリークラブと出会います。別世界に生きる皆様だと緊張しながらお料理をサーブしていたことを覚えております。昨年8月に横須賀ロータリークラブに入会できました時は私なんかでいいのだろうかと思ってしまうほど緊張しておりました。

2年目の留学ではオーストラリアかシアトルを選ぶことができ、私はシアトルへ行くことにしました。ホストファミリーの発表は本当に楽しみで、アメリカ人のスミスさんとか、ブラウンさんとか横文字の名前が発表されると思っていたのですが、私のホストファミリーは村上さんでした。その時のショックは大きく日本人の家にホームステイするのかと初めは落胆いたしました。行ってみると、サンフランシスコに移住された日系第3世のお父さんとお母さんで、英語しか話せないアメリカ人ファミリーでした。とてもやさしいホストファミリーで、我が子のように私を受け入れてくれました。食事も日本食を作ってくれたりして、とても快適なホームステイでした。コロナ前ですがハワイで再会するなど今も交流が続いているほどです。

留学中はできることは何でもやってみよう精神で、インターンシップでシアトルマリナーズのチームストアで研修をさせていただきました。当時はマリナーズのイチロー選手の活躍が目まぐるしく、ショップには日本人観光客がたくさんいらしていましたので、お土産の販売の通訳等を行っていました。そして一番思い出に残っているのは、冬休み中に参加したホノルルマラソン完走です。人生初のマラソン完走は5時間半で、ハワイの街並みを走ることができ、最後10kmは膝の激痛と共に泣きながら完走しました。この達成感には本当に何でもできるかと思えるくらいで、18歳の私の人生観を変えてくれる大切な思い出になり、参加して本当に良かったと思えました。

日本に帰国後、目指していた航空業界へ履歴書を送り続けるも惨敗し続けている時、学校に上海のPudong Shangri-Laの求人がありました。折角留学したのだから英語の面接も経験しようかな的な軽い気持ちで出願しました。身長制限が160cm以上という今では考えられない規定がある中、学校より7人出願し152cmの私が採用されました。後で言われた話ですが、現地到着時迎えたホテルマネージャーがあまりの小ささに驚いていたそうです。

卒業前の19歳の9月にゲストリレーションズというポジションで入社し、日本人のお客様の対応をはじめ、VIPのお客様のチェックイン、チェックアウト、ご滞在中の対応を行う仕事を担当しました。

上海での初めての一人暮らしは、会社が用意してくれたアパートへの入居となりました。建物が古くゴキブリと格闘する毎日でした。ゴキブリが出て怖くて退治できず、いつも母親にゴキブリが出たことを電話で報告しておりました。会社に相談し部屋を変えてもらって快適な新築のアパートに引っ越しできました。

万博前の上海は、市内いたるところで工事が行われており、毎日景色が変わっていくほどのすごいスピードの建設ラッシュの傍ら、道路で髪を切っている光景を見たり、2個で10円の肉まんを買ったり、自転車の荷台で炭火で焼いている肉の串を食べてみたりしていました。今考えると一体何の肉だったかは不明です。カエル、蛇、アヒルの顎等、上海人の同僚に連れていかれたレストランではいろんなものを食べさせてもらいました。誕生日祝いが出された臭豆腐は最悪の経験でした。当時上海では反日運動が激化していた時でもあり、友人と大学近くで食事をしていた時はテーブルにあったメニューを投げつけられたこともありました。お店の方がメニューを投げってきた客を追い出してくれましたが、報道だけではなく、実際にあるのだと怖くなった出来事でした。

1年で帰国しようと思っていたのですが、もう一年更新していただき、そこから私の1年のはずだった海外放浪生活が始まります。上海で勤務していたころ、急に5日間の休みのシフトが組まれました。急遽私は人生初の1人旅を計画し、香港へ向かいました。当時シャングリラホテルでは、スタッフレートというグループホテルに安価で泊まれる福利厚生制度があり、香港のカオルーンシャングリラに当時1泊5000円で宿泊できました。20年前の香港は、イギリスから返還されたこともあって、雰囲気、街並みが上海とはまったく違い、すっかり香港に住んでみたいと思うくらい魅了されました。カオルーンシャングリラで私と同じ仕事をしているゲストリレーションズのスタッフと話しているときに、香港に住んでみたいと言ったところ、日本人スタッフを募集しているとのことで、すぐにマネージャーを紹介していただき、面接の段取りを組んでいただきました。旅行のつもりが就職活動のようになってしまい、その2か月後には香港へ引っ越しことになりました。上海でやっていた仕事と同じだと思っていたのですが、香港人の仕事のスピードが速く

て、毎日広東語で早くしろと怒られながら働いていました。日本人スタッフは私を含め宿泊部に5名いるほど日本人のお客様のご利用が多いホテルでした。

香港はアパートが高く、同じ時期に入社した日本人スタッフの子と新築のサービスアパートをルームシェアしたのですが、その子が試用期間をパスできず辞めることになってしまいました。一人で家賃を払うことができないので、不動産屋に駆け込みアパートを探しました。ホテルから5分のところにアパートを見つけたのですが、住んでいたサービスアパートとは比べ物にならないほど古く、扉の前に鉄格子が付いている牢屋のようなアパートに引っ越しました。両親が遊びに来た際に私のアパートを見たときは絶句していました。ただ、香港での生活は海も山もあり、ボートトリップと言ってみんなでボートを貸し切ってパーティーをしたり、香港の競馬場（日本とは違い女性はドレスに帽子、男性はスーツにネクタイを着ていく必要がありました）に行ったり、週末にフェリーに乗ってマカオのカジノに行ったりと経験したことないことだらけで、非常に充実した生活でした。

そうした中でだんだんと営業の仕事に興味を持ち始めていきます。香港は日本マーケットが大きいので、営業経験のない私には、なかなかチャンスがありませんでしたが、香港の老舗ホテルであるマルコポーロ香港ホテルより、ゲストリレーションの部署の立ち上げを条件に営業をさせていただけるというオファーをいただきました。マルコポーロ香港ホテルでは、採用から業務手順書の作成まで実施し、5名のゲストリレーションズのチームを立ち上げました。やっと営業ができると思っていましたが、新しい日本人のセールスマネージャーが採用されてしまいます。

そんな時、上海で働いていた時の上司にお会いする機会があり、営業をやりたいと話すと、その元上司がマレーシアに赴任されたばかりだったため日本人の営業を探しているとのことで、オファーをいただき3年半の香港生活に別れを告げ、野生のオランウータンが生息するボルネオ島に引っ越します。ここまではシティホテルだったので、真逆の常夏のリゾートホテルへの赴任は初めての田舎生活で、道にアヒルや牛がいるとてもどかな町でした。週末はダイビングをしたり、コタキナバルでゴルフレッスンにも通いました。仕事では、一から営業のことを教えていただき、当時マレーシア航空での直行便が就航していたこともあり、たくさんの日本人のお客様をお迎えすることができました。そしてオーストラリア・ニュージーランドマーケットも担当するようになっていきます。

そんな時、突然マレーシア航空の直行便が、日本、オーストラリアともに廃止されるという発表があります。どんなに営業を強化しても、シンガポールもしくはクアラルンプール経由での渡航となり、お客様の足も遠のいてしまいました。そしてマレーシアでホテルマネージャーをしていた上司が深圳にGMとして異動されます。状況が厳しい中、日本出張中に携帯が鳴り、深圳のセールスマネージャーが上海に異動することになり、後任の営業を探していて日本人を紹介してほしいという内容でした。とっさに私でよければと言ってしまい、2か月後、深圳に引っ越しすることになります。

深圳は、当時日系企業も多く99アカウントを担当しました。中秋節には、合計8000箱の月餅を販売しました。しかし残念なことに反日運動が激化し、市内での営業が難しくなり、シャングリラ深圳を退職しました。ホテル以外での経験をと思い、ジャカルタの豊田通商インドネシアに現地採用で入社します。ジャカルタはテロが発生するなど治安があまり良くないためドライバー付きの車が支給され、とてもセブな1年間でした。建設事業部でのお仕事で日本人向けのサービスアパート兼ホテルAXIA South Cikarangのプロジェクトに携わりました。開業式の段取りや、ご入居されるお客様の法人に出向き、契約の締結や開業前の

新人研修などを担当いたしました。開業後は運営会社と協議しながらレポートの作成など行いました。週末はバリ島旅行、ゴルフといった生活でした。

ちょうど海外生活も10年になっており、そろそろ日本に帰りたいと思うようになっていました。その時、AXIAの運営会社社長より、札幌のホテルをリブランドして運営するお話があり、総支配人をやってほしいとお話をいただきます。ホテル業界で働いていた私は、いつか総支配人になりたいと思ってはいましたが、当時私は29歳で日本での初めての仕事が総支配人という重圧を感じて最初はお断りしました。札幌ではなく大阪に帰りたいという気持ちもあり、2、3年後には大阪にも開業する予定だという話をうのみにし、結果としてお受けしました。もちろんその後大阪にホテルが開業することはありませんでした。

札幌ではマーケットもわからず初めてのことが多く、いろいろな壁にぶち当たりながらも、メルキュール札幌の皆様をはじめ、多くの札幌のホテルの皆様にお世話になり4年間務めることができました。また、東

京の大森海岸に280室の新築がオープンし、兼務の距離とは思えませんが、札幌と東京の統括総支配人を務め、2週間札幌、2週間東京という2拠点生活をしておりました。

そして同会社の取締役役に就任し、コンサルティング業務を行います。収益管理、営業戦略、コスト削減の提案等をはじめ、ホテルの運営だけではなく、民泊の運営などのお仕事をいただき金沢へ拠点を移します。ホテル金沢では、宿泊、経理、料飲部門を担当し、コロナ下での新しい取り組みについて現地に入ってオーナー様に提案する職務でした。

また国内のチェーンホテルのレベニューマネジメントのコンサルティング、7室の民泊の運営をコンサルティングさせていただきました。ホテルとは違い、無人での運営をどのように行うかなど、試行錯誤の末、形になり、最終的には2棟の民泊の運営に携わりました。

同社に10年間勤めた節目で取締役の契約更新のタイミングで重任はせず、現アコージャパン社長より札幌と横須賀のどちらかでお話しいただき、11回の引っ越しの末、横須賀の総支配人に着任しました。

メルキュール横須賀は2024年10月1日でおかげさまで15周年を迎えました。皆様のご支援本当にありがとうございます。この場を借りまして厚く御礼申し上げます。メルキュールでは2017年より学習支援活動を行っており、学習塾への軽食を提供させていただいております。またSDGsへの取り組みも強化しており、プラスチック製品の廃止、横須賀のエコルシェさんとコラボし、横須賀で一番エコなマルシェを8月に開催させていただきました。次回は11月24日に予定しておりますのでもしよろしければ、エコバッグ等ご持参いただきご参加いただければと思います。

現在アコーグループのホテルは日本全国に7ブランド43ホテルございます。うち22ホテルは2024年4月1日よりダイワリゾート様のホテルを一斉リブランド開業いたしました。ぜひご旅行の際にはご利用いただければと思います。

今年、メルキュールホテルは世界で1000ホテルになりました。11月よりメルキュール1000ホテルを祝してレストランでのプロモーションを開催予定です。

横須賀でもますますメルキュールはいろんな企画を打ちだし、皆様に楽しんでいただければと思っておりますので引き続きどうぞよろしく願いいたします。
長らくのご清聴ありがとうございました。

<閉会・点鐘> 13:30 高橋 会長

週報担当 梁井 康市